

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
<b>1 深まる学びへ</b>				
6月 家庭 学習 含む	春に 1時間 ◎文脈の中における語句の効果的な使い方など表現上の工夫に注意して読む。(読(1)ア) ◎詩に込められた作者の人間や自然に対する思いを捉え、自分の意見をもつ。(読(1)エ)	1	1 作品を通読し、特徴的な言葉や表現の工夫などについて気づいたことを話し合う。 ・繰り返し使われる言葉や比喩表現などを抜き出し、気づいたことを述べ合う。 2 詩に込められた作者の人間や自然に対する思いを読み取り、その思いを自分と照らし合わせて考え、自分の意見をもつ。 ・4回繰り返される「この気持ち」の内容を考える。 3 表現の特徴を踏まえて、自分の思いを込めて朗読する。 4 学習を振り返る。 ・どんな表現の工夫があったか。 ・詩に込められた作者の思いからどんな意見をもったか。	【関】表現の特徴や作者の思いを捉え、自分の考えをもとうとしている。 【読】・印象に残る表現を抜き出し、その効果や工夫について考えている。 ・詩中の「この気持ち」の内容を捉え、それについての自分の意見をもっている。 支 「気持ち」が直接的に表現されている言葉や、行動によって間接的に表現されている言葉に気づかせる。 【言】反復や比喩などの表現に注意して読んでいる。
6月 家庭 学習 含む	握手 4時間 ◎作品中の表現や、登場人物の置かれた状況、言動に着目して、人物像を捉える。(読(1)ア・ウ) ◎登場人物の生き方や考え方を捉え、人間や社会について自分の意見を持ち、作品を批評する。(読(1)イ・エ)  ★小説を読んで批評する。(読(2)ア)  ○文章に用いられている漢字を正しく読み、小学校で学習した漢字に書き慣れる。(伝国(1)ウ(ア)(イ))	1  2-3  4	「目標」や「学習の見通しをもとう」などから本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 作品を通読し、人物どうしの関係や置かれた状況を確認する。(学習1) ・「現在」と「回想」とを重ねていく構成であることに注意する。 2 会話文の言葉やエピソードに着目して、登場人物の人物像や心情を捉える。(学習2) ・3回の握手が交わされた状況を整理し、握手に込められた「わたし」と「ルロイ修道士」の思いを考える。 3 作品のよさや特徴について、自分の考えを書く。(学習3) → p29窓 「物語や小説を批評する」 → p307窓 「文学的な文章を読むために」 → p29言葉 4 学習を振り返る。 ・どんな点に着目して「ルロイ修道士」の人物像を考えたか。 ・登場人物のどんな生き方や考え方が印象に残ったか。  漢 p30「漢字を確認しよう」の問題に取り組む。	【関】作品を読み、そのよさや特徴について、自分の考えを深めようとしている。 【読】・作品の表現に即して、人物像を読み取っている。 ・作品の表現や構成、内容について、自分なりに観点を決めて批評している。 支 どういうところが特に心に残ったか友達と意見を交流することで、自分なりの観点に気づかせる。 【言】作品に使われている言葉の意味を調べたり、比喩表現に着目したりして、作品を読み深めている。  【言】問題に取り組む、漢字をおおむね正しく読み書きしている。
	季節のしおり 春		・春の季語や、春の情景を詠んだ和歌や俳句などを味わい、伝統的な言語文化に親しむ。 ◇授業の導入やp139「君待つと」p146「夏草」などの資料として用いてもよい。	



月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	<b>2 視野を広げて</b>			
6月	<b>月の起源を探る</b> <b>3時間</b> ◎語句の使い方や説明の順序、図の使い方に着目して、内容を捉える。(読(1)ア・イ) ◎筆者の科学的なものの見方や考え方について、自分の考えをもち評価する。(読(1)ウ)  ○文章に用いられている漢字を正しく読み、小学校で学習した漢字に書き慣れる。(伝国(1)ウ(ア)(イ))	1  2-3  4	「目標」や「学習の見通しをもとう」などから本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 全文を通読し、文章と図の対応について確認する。(学習1) ・筆者が話題にしている「仮説」について、それぞれに対応した文章と図の関連を考える。 2 説明の順序やまとまりの役割を考え、文章全体の構成を捉える。(学習2) → p 51 <sup>窓</sup> 「説明の順序に着目する」 → p 309 <sup>窓</sup> 「説明的な文章を読むために」 ・「古典的仮説」について、それぞれの要点と現在それがほぼ否定されている理由をまとめる。 ・どのような説明の順序や構成によって「巨大衝突説」を「最も有力な説」と位置づけているのかを考える。 3 科学的なものの見方や文章の構成や表現について、自分の考えをもち、話し合う。(学習3) 4 学習を振り返る。 ・説明の順序などに、どんな工夫がなされていたか。 ・筆者の科学的なものの見方や考え方について、文章のどこに着目して考えたか。  <sup>漢</sup> p52「漢字を確認しよう」の問題に取り組む。	<b>【関】</b> 進んで文章を読み、論理の展開や内容を理解しようとしている。 <b>【読】</b> ・図と本文との対応を確かめながら読み、内容を捉えている。 ・筆者のものの見方や文章の構成や表現について、自分の考えをもっている。 <b>支</b> 小見出しに着目させ、筆者の思考や叙述の順序について考えさせる。 <b>【言】</b> 論理展開を支える漢語の意味と効果を理解している。  <b>【言】</b> 問題に取り組み、漢字をおおむね正しく読み書きしている。
6月	<b>練習 文章の形態を選んで書く</b> <b>1時間</b> ◎文章の形態の特徴を知り、それぞれの形態の特徴を踏まえた表現の工夫をする。(書(1)ア)	1	1 教材文「体育祭での出来事を、さまざまな形態で表現した例」を参考に、それぞれの形態の特徴について知る。 2 文章の形態の特徴に注意して文章を書く。 ・「昨日の出来事」について、「上達のポイント」や p 272「いろいろな文章形態」を参考に文章の形態を選択し、それぞれの特徴に応じた文章を書く。 → p 272 <sup>窓</sup> 「いろいろな文章形態」	<b>【関】</b> 日常を振り返り、進んで文章を書こうとしている。 <b>【書】</b> 文章の形態の特徴を踏まえた表現の工夫をしている。 <b>支</b> p53「上達のポイント」に示されている観点に基づいて書く内容をまとめさせる。 <b>【言】</b> 選んだ文章形態に合った語句や表現を意識して使っている。

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
6月	<b>魅力的な紙面を作ろう</b> <b>修学旅行記を編集する</b> <b>4時間</b> ◎内容にふさわしい文章の形態や素材を選び、紙面構成を工夫して書く。(書(1)ア・イ) ◎書いた文章を読み返し、文章構成や表現、紙面の体裁を整える。(書(1)ウ) ★目的に応じて様々な文章などを集め、工夫して編集する。(書(2)イ)	1  2-3  4	「目標」や「学習の見通しをもとう」などから本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 <b>1</b> 取材メモを作る。 ・修学旅行で心に残った出来事などを、付箋やカードに書く。 <b>2</b> 編集会議を開く。 ・集まった取材メモをグループで整理する。 ・ページの構成など冊子の全体像を考える。 ・担当するページについて、文章の形態と素材(写真・図表など)を考える。 → p 272窓「いろいろな文章形態」 <b>3</b> 紙面構成を考えて下書きをする。 → p 57窓「魅力的な紙面を編集するには」 ・内容や順序、写真やイラストの配置など、わかりやすい紙面構成を考える。 ・取材メモを参考に、選んだ文章の形態に合った構成や表現の工夫をする。 <b>4</b> 下書きを読んで助言し合い、清書する。 ・グループで下書きを読み、よりよくなるよう助言し合う。 <b>5</b> 冊子にまとめ、読み合う。 <b>6</b> 学習を振り返る。 ・どんな点に注意して文章の形態を選び、書いたか。 ・どんな点を工夫して編集したか。	<b>【関】</b> 自分が書く文章に合った形態を選び、進んで文章を書こうとしている。 <b>【書】</b> ・内容に合った文章の形態を選び、素材の配置など、紙面構成を工夫している。 ・文章を読み返し、形態に合った文章構成や効果的な表現になるよう、紙面の体裁を整えている。 <b>支</b> p53「文章の形態を選んで書く」での学習内容を振り返らせ、読み返すときの観点をもたせる。 <b>【言】</b> 選んだ文章形態に合った語句や表現を意識して使っている。
6月	<b>「想いのリレー」に加わろう</b> <b>「情報発信」について考えよう</b> <b>2時間</b> ◎語句の使い方や気をつけながら現代のメディアの特徴を読み取り、情報発信の意義と注意点について考えを深める。(読(1)ア・エ・オ)	1  2	「目標」や「学習の見通しをもとう」などから本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 <b>1</b> 全文を通読し、さまざまなメディアの特徴を考える。 ・新聞、テレビ、ソーシャルメディアの特徴について意見を述べ合う。 ・本文中からソーシャルメディアの長所と短所を捉え、「想いのリレー」という言葉の意味を考える。 <b>2</b> クラスでできる「情報発信」について話し合う。 ・身の回りの出来事やお知らせなど、どんな情報をどんな手段で発信できるかを考える。 ・考えた情報の内容と発信手段について、どんなことに気をつけなければならないか、意見を述べ合う。 <b>3</b> 学習を振り返る。 ・ソーシャルメディアにはどんな特徴があったか。 ・情報発信するときは、どんなことに気をつけなければならないか。	<b>【関】</b> 文章を読んで、社会や人間について自分の考えをもとうとしている。 <b>【読】</b> 現代メディアの特徴や情報発信の意義と注意点を読み取り、自分の日常生活と結びつけて考えようとしている。 <b>支</b> ソーシャルメディアを使った情報発信について、ニュースになった出来事や知っていることを話し合わせる。 <b>【言】</b> 外来語の使い方や注意して読んでいる。
6月	<b>言葉 1</b> <b>和語・漢語・外来語</b> <b>1時間</b> ◎和語・漢語・外来語の使い分けに注意し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(伝国(1)イ(イ))	1	<b>1</b> 教材文の導入の例を基に、和語・漢語・外来語から受ける印象の違いについて考える。 <b>2</b> 和語・漢語・外来語・混種語の性質や特徴について理解する。 ・p64「生活に生かす」を読み、どのように使い分けるとよいか、生活の中の具体的な場面を想定して考える。	<b>【関】</b> 和語・漢語・外来語の使い分けを理解しようとしている。 <b>【言】</b> 和語・漢語・外来語のそれぞれを理解し、相手や場面に応じて適切に使い分けている。 <b>支</b> p63・64に例として挙げられている和語・漢語・外来語の表現を比較させ、感じ方の違いを交流させる。

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	<b>3 言葉を見つめる</b>			
7月	<b>俳句の可能性</b> <b>俳句を味わう</b> <b>3時間(読②書①)</b> ◎筆者のものの見方や感じ方、表現のしかたなどを読み味わい、俳句の世界に親しむ。(読(1)ア・ウ) ◎感動の中心が効果的に伝わるように、語句や語順に注意して俳句を作る。(書(1)ア) ★表現のしかたを工夫して、俳句を作る。(2年書(2)ア)	1	「目標」や「学習の見通しをもとう」などから本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 全文を通読し、俳句の特色などを知るとともに、五句それぞれに込められた心情や情景を想像する。 ・詠まれている情景を想像しながら、それぞれの俳句を音読する。(学習1) ・俳句に関する専門用語の意味を確認する。(学習2-1) ・筆者のものの見方や感じ方が表れている語句や表現などの意味を確認する。(学習2-2) ・文章中で紹介された五句の解説を基に、俳句の表現の工夫とその効果について、全体で確認する。 2 2 p70「俳句を味わう」で紹介されている俳句について、それぞれの俳句に表現されている心情や情景などを捉え、朗読する。 3 3 俳句を作る。 ・自分の身の回りの風景、好きな季節や時間、心に残る出来事や感動したことなど、テーマを決めて俳句を作る。 ◇「歳時記」を活用したり、p31・100・132・196「季節のしおり」の俳句や季語を参考にさせたりするとよい。 ◇テーマごとに句会を開き、よいと思うところを指摘し合うのもよい。 4 学習を振り返る。 ・筆者のものの見方や感じ方、表現のしかたなどを読み味わい、俳句の世界に親しんだか。 ・語句の使い方や表現のしかたを工夫して俳句を作ったか。	<b>【関】</b> 俳句の形式に興味をもち、表現上の特徴を生かして俳句を作ろうとしている。 <b>【読】</b> 俳句の約束事を理解し、俳句に込められた作者の思いや情景を読み味わっている。 <b>支</b> 「有季定型」の基本を確認させ、「歳時記」や解説文を参考に、自分の感じたことを述べさせる。 <b>【書】</b> 語順や表現のしかたに注意して、自分の思いや感動を俳句に表現している。 <b>支</b> 語順を入れ替えたり別の表現に置き換えたりしてみるよう助言する。 <b>【言】</b> 語句の効果的な使い方や注意し、語感を磨き語彙を豊かにしている。
7月	<b>言葉を選ぼう</b> <b>1時間</b> ◎時間の経過によって変化した言葉や世代によって使われ方が違う言葉を見つけ、その違いを理解するとともに、調べた内容について相手にわかりやすい説明になるように構成を工夫して書く。(書(1)ア)(伝国(1)イ(7))	1	「目標」や「学習の見通しをもとう」などから本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 教材文を通読し、言葉の性質について知る。 2 日常生活の中で、世代間で意味や使い方が異なる言葉や限られた世代だけが使っていると思われる言葉を探す。 ・自分たちが日常生活で使っている言葉や違う世代との会話の中で違和感があった言葉などについて、意見を出し合う。 ◇文化庁による「国語に関する世論調査」を資料として参考にさせてもよい。 3 探した言葉について、短作文を書く。 ・自分が探した言葉について、その言葉を知らない人にもわかるように、言葉の意味や使い方などを説明した200字程度の文章を書く。 4 学習を振り返る。 ・言葉にはどんな性質があったか。 ・時間の経過によって変化した言葉や世代によって使われ方が違う言葉にはどんなものがあったか。	<b>【関】</b> 言葉の性質について理解を深めようとしている。 <b>【書】</b> 日常の言語生活を振り返り、調べた内容をわかりやすく説明する工夫をしている。 <b>支</b> 調べた言葉について、具体的な使用場面を想定させる。 <b>【言】</b> 時代による言葉の変化や世代による言葉の違いを理解している。 <b>支</b> 国語辞典で言葉の本来の意味や使い方を調べさせる。

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
7月	<p>「批評」の言葉をためる 2時間</p> <p>◎文脈における語句の意味に気をつけながら「批評する言葉」についての筆者の考えを読み取り、自分の考えを深める。(読(1)ア・エ)</p>	1  2	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」などから本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 全文を通読し、筆者の考えを読み取る。(学習1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「批判」「批評」「言葉のキャッチボール」「自己ルール」「感受性」という言葉が、文脈においてそれぞれどのような意味で使われているかを考える。</li> <li>・「批評し合う関係」がなぜ大切なのか、筆者の考えを整理する。</li> </ul> <p>2 筆者の考えを読み取り、自分の考えを深める。(学習2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「批評する言葉」をためていくために気をつけることを、本文を参考にしながら考えを出し合う。</li> </ul> <p>3 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「批判」と「批評」にはどんな違いがあったか。</li> <li>・「批評する言葉」をためるには、どんなことに気をつければよかったか。</li> </ul>	<p>【関】 進んで文章を読み、内容を理解しようとしている。</p> <p>【読】 文脈における語句の意味に注意して読み、筆者の考えを捉え自分の考えを深めている。</p> <p>支 小見出しを参考に、まとまりごとの大事な内容を押さえさせる。</p> <p>【言】 抽象的な言葉の意味を捉えている。</p>
家庭学習	<p>文法への扉1 すいかは幾つ必要？ 1時間</p> <p>◎文の成分の順序や構成など、文法についての理解を深め、日常生活や学校生活の中での表現や読解に生かす。(2年伝国(1)イ(ウ)(エ))</p>	1	<p>1 教材文を読み、文法的な観点から表現を見直すことの意義を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・導入の課題に取り組み、果物の個数について、母と息子の間で誤解が生まれた原因について考える。</li> <li>・誤解の原因を指摘し、母親はどのように伝えるべきだったのか話し合う。</li> </ul> <p>2 p218文法1「文法を生かす」を読み、文節・連文節の係り受けなどの既習の文法について理解を深め、文法の知識を表現や読解に生かすポイントを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下段の練習問題に取り組み、理解の程度を確かめる。</li> </ul>	<p>【関】 既習の文法知識を振り返って話し合おうとしている。</p> <p>【言】 文法的な観点から誤解の生じた原因を理解している。</p> <p>支 p216文法「一、二年生の復習」を用いて、既習事項を振り返らせる。</p>
読書生活を豊かに				
7月	<p>高瀬舟 未来の私にお薦めの本 読書案内 読書コラム ためになるってどんなこと？ 2時間</p> <p>◎目的をもって本を読み、表現上の特徴、文章の展開や場面・登場人物の設定などを捉えて、自分の考えを広げたり深めたりする。(読(1)ア・イ・エ・オ)</p> <p>★自分の読書生活を振り返り、本の選び方や読み方について考える。(読(2)ウ)</p>	1  2	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」などから本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 読書教材「高瀬舟」を読み、近代文学の表現を味わったり、感想を交流したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・喜助と庄兵衛は、「生きる」ということについてどのように考えているか話し合う。</li> </ul> <p>2 「未来の私にお薦めの本」を読み、自分の読書生活を振り返り、今までの読書傾向を分析する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校に入ってから、いつ、どんな本を読んできたかを思い出す。</li> <li>・読書傾向を分析し、感想を語り合う。</li> </ul> <p>◇p94-95にある読書傾向の観点で分析させる。</p> <p>3 分析結果を参考に、これから読んでみたい分野や作家を読書ノートに書き出す。</p> <p>◇p96-98「読書案内」やp99「読書コラム」、p256-261「古典・近代文学の名作」を参考にさせるとよい。</p> <p>4 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分にはどんな読書の傾向があったか。</li> <li>・これからどんな本を読んでいきたいか。</li> </ul>	<p>【関】 自分の読書生活に関心を持ち、読書について話し合ったり、読書の幅を広げたりしようとしている。</p> <p>【読】 表現や場面・人物設定などに着目して読み、自分のものの見方や考え方を広げるとともに、読書生活について考えている。</p> <p>支 これまでの読書経験で得たものや、今興味をもっていることなどを出させ、読書案内などを参考に、これからの読書生活を考えさせる。</p> <p>【言】 難しい語句や表現について理解しながら読んでいる。</p>
7月	季節のしおり 夏		<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の季語や、夏の情景を詠んだ和歌や俳句などを味わい、伝統的な言語文化に親しむ。</li> </ul> <p>◇授業の導入やp139「君待つと」p146「夏草」などの資料として用いてもよい。</p>	

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	<b>4 状況の中で</b>			
9月	<b>挨拶</b> <b>2時間</b> ◎比喩や象徴的な表現に着目し、作者のものの見方や考え方を捉える。(読(1)ア・ウ) ◎詩に表現されている内容と、現代社会の状況を重ね合わせながら考えを深める。(読(1)エ)	1	「目標」や「学習の見通しをもとう」などから本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 作品を通読し、リズムや表現の工夫などについて気づいたことを話し合う。(学習1) ・繰り返し出てくる「顔」という表現に着目し、それぞれ誰を表現しているのか確認する。 2 語句や表現に込められた意味を読み取る。(学習2) ・「午前八時一五分は／毎朝やってくる」に作者が込めた意味。 ・文脈における「油断」の意味。 3 作者のものの見方や考え方について、自分の意見を持ち、発表し合う。(学習3) ・現代に生きる人間や社会の在り方と重ね合わせながら作品を読み深め、作者の思いや考えについて自分の考えをもつ。 4 学習を振り返る。 ・作者のものの見方や考え方は、どんな表現に表れていたか。 ・どのような内容が現代社会の状況と重なると考えたか。	<b>【関】</b> 作品を読み、作者のものの見方や考え方について自分なりに考えようとしている。 <b>【読】</b> ・比喩や象徴的な表現に着目し、作者の思いを読み取っている。 ・作品に込められた思いを、詩の世界と現実の世界の在り方とを重ね合わせながら考え、自分の言葉で説明している。 <b>支</b> 社会科の学習内容を振り返らせ、当時の時代背景と現代社会との違いを考えさせる。 <b>【言】</b> 詩の一語一語を注意して読み、語感を磨き語彙を豊かにしている。
9月	<b>故郷</b> <b>4時間</b> ◎表現や場面、登場人物の設定に着目して、内容を読み深める。(読(1)ア・イ・ウ) ◎時代や社会の変化の中での、人と人との関わりについて考えをもつ。(読(1)エ)  ○文章に用いられている漢字を正しく読み、小学校で学習した漢字に書き慣れる。(伝国(1)ウ(ア)(イ))	1  2-4  5	「目標」や「学習の見通しをもとう」などから本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 作品を通読し、場面設定や登場人物の人物像、人間関係を確認する。(学習1) ・「私」の現在の場面と回想の場面、「私」と他の登場人物との関係を確認する。 2 場面や登場人物の設定に着目し、登場人物の心情や関係の変化を読み取る。(学習2) → p 121 <b>窓</b> 「場面や登場人物の設定を考える」 → p 307 <b>窓</b> 「文学的な文章を読むために」 ・故郷や我が家の様子、登場人物などについて、思い出の様子と現在の様子との変化が表われた部分を抜き出して比べる。 ・「私」と「ルントウ」との関係が変わった理由について考える。 ◇会話文の中の「……」に込められた話し手の心情を想像させる。 3 作品から、時代や社会の変化の中での人と人との関わりについて考え、自分の意見をもつ。(学習3) ・「希望」という表現に着目して読み、「私」がどんな社会を望んでいたのかについて考え、意見を交流する。 4 学習を振り返る。 ・現在と回想を対比させた設定から、どんなことが表現されていたか。 ・作品のどんなところに着目して、社会や人と人との関わりについて考えたか。	<b>【関】</b> 作品を読み、人と人との関わりについて考えようとしている。 <b>【読】</b> ・場面や登場人物の設定を表す語句や表現に着目し、登場人物の心情を読み取っている。 ・時代や社会の変化の中での人と人との関わりについて、自分の考えをもっている。 <b>支</b> 自分自身のこれまでの経験を振り返らせ、考え方や友人関係において変化したことやそうでないことに気づかせる。 <b>【言】</b> 作品中の漢語表現に注意して読み、語感を磨き語彙を豊かにしている。
			<b>【漢】</b> p122 「漢字を確認しよう」の問題に取り組む。	<b>【言】</b> 問題に取り組み、漢字をおおむね正しく読み書きしている。





月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	<b>5 いにしえの心と語らう</b>			
10月	音読を楽しもう 古今和歌集 仮名序 1時間 ◎比喩表現などの表現上の工夫に注意しながら「古今和歌集 仮名序」の冒頭部分を音読し、古典の世界に親しむ。(読(1)ア)(伝国(1)ア(7))	1	1 「古今和歌集 仮名序」冒頭部分を音読する。 ・歴史的仮名遣いに注意し、音読を通して古文の言葉の響きやリズムを味わう。 ◇植物の種と葉のたとえから、「和歌」についてのイメージを広げさせる。 ◇p31・p100・p132・p196「季節のしおり」の和歌などを用いて、さらに古典の学習を広げること考えられる。	【関】「仮名序」冒頭部分の内容に興味をもち、進んで音読しようとしている。 【読】古人が「和歌」をどのようなものとして捉えていたかを理解している。 支 現代語訳や注を参考にさせる。 【言】古文のリズムを意識しながら音読している。
10月	君待つと 一万葉・古今・新古今 2時間 ◎効果的な表現や語句の使い方に着目して、それぞれの和歌を読み味わう。(読(1)ア・ウ) ◎歴史的な背景に注意して古典の和歌を読み、昔の人の心情や情景を読み味わうとともに、和歌に歌われている人間や自然などについて、自分の考えをもつ。(読(1)エ)(伝国(1)ア(7))	1  2	「目標」や「学習の見通しをもとう」などから本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 和歌を声に出して読み、言葉の響きやリズムを楽しむ。(学習1) 2 「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」の歌を比較し、和歌に表れた作者の心情や情景を想像して、感じたことを話し合う。(学習2) 3 心に響いた和歌を一首選び、鑑賞文を書く。(学習3) ・脚注を参考にしながら心情や情景を考える。 ◇鑑賞文の書き方のポイントを示す。 4 学習を振り返る。 ・和歌にはどんな表現上の特徴があったか。 ・それぞれの和歌に詠まれた心情や情景から、どんなことを感じたか。	【関】それぞれの和歌集に興味をもち、和歌に表れた古人の心情や情景について現代語訳を基に想像しようとしている。 【読】和歌の表現技法や語句の使い方に気づいて読み、感想をもっている。 ・脚注を参考にしながら古人の心情や情景を読み取り、和歌に対して自分の考えをもっている。 支 p145「和歌の表現技法」を読ませ、自分の選んだ和歌にある表現技法に気づかせる。 【言】現代語訳や脚注、出典欄などを基に、歴史的な背景に注意して和歌を読んでいる。
10月	夏草 —「おくのほそ道」から 3時間(読・伝国③書①) ◎古典の文章を、表現のしかたや文体の特徴に着目して読み味わう。(読(1)ア・ウ) ◎歴史的背景などを考えながら、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもつ。(読(1)エ)(伝国(1)ア(7)) ○古典の文章の中から自分の心に響いた言葉を引用し、文章の形態を工夫してメッセージを書き、読み合う。(書(1)ア・イ・エ)(伝国(1)ア(1))	1  2-3  4	「目標」や「学習の見通しをもとう」などから本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 地の文と俳句の組み合わせによる構成の効果を踏まえ、芭蕉の思いを想像しながら、全文を声に出して読む。(学習1) 2 全文を読み、芭蕉のものの見方や感じ方を読み取る。(学習2) ・芭蕉の「旅」についての考えを抜き出すとともに、平泉で芭蕉が感じたことを考える。 3 本文中の四つの俳句から、自分の心に響く俳句を一句選び、その理由などについて述べる。(学習3) ◇p148・149『「おくのほそ道」俳句地図』に出てくる俳句も参考にさせる。 4 古典の言葉を選び、贈る相手と目的、文章の形態を選択してメッセージを書く。 ・できあがった文章を友達と読み合う。 5 学習を振り返る。 ・「夏草」は、表現や文体にどのような特徴があったか。 ・文章や俳句から、芭蕉のどんなものの見方や感じ方を捉えたか。	【関】俳句に込められた芭蕉の思いを考えようとしている。 【読】作品の表現のしかたや文体の特徴に着目しながら読んでいる。 ・芭蕉の感じたことを踏まえながら、選んだ俳句が心に響いた理由を述べている。 支 「おくのほそ道」の現代語訳や脚注を読ませ、芭蕉の考えを想像させる。 【書】メッセージにふさわしい文章の形態を選択し、相手を意識した文章を書いている。 ・友達メッセージを読み、観点にそって評価している。 支 今までの古典の学習を振り返らせ、現代語訳も参考にしながら気に入った言葉を選ばせる。 【言】歴史的背景を踏まえながら作品を読んだり、古典の一節を引用した文章を書いたりして、古典の世界に親しんでいる。
10月	古典を心の中に 1時間 ◎古典作品について書かれた文章を読み、自分の考えを深め、古典の世界に親しむ。(読(1)エ・オ)(伝国(1)ア(7))	1	1 本文を通読する。 ・古典を通して、人と出会い、さまざまな世界を体験できることを知る。 ◇p256(注)「古典・近代文学の名作」の古典作品に触れながら読ませてよい。	【関】古典のさまざまな作品に関心をもとうとしている。 【読】古典には人の姿やさまざまな世界が描かれていることを理解している。 支 既習の古典作品の中に織り込まれている具体例を示す。 【言】古典の知識に触れ、その世界に親しんでいる。

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	<b>6 論旨を捉えて</b>			
11月	<p><b>作られた「物語」を超えて</b></p> <p><b>4時間</b></p> <p>◎筆者の考えを表す語句や論理の展開に着目して主張を捉え、表現のしかたについて評価する。(読(1)ア・イ・ウ)</p> <p>◎筆者のものの見方や考え方を踏まえて、人間、社会、自然などについて自分の考えをもつ。(読(1)エ)</p> <p>○文章に用いられている漢字を正しく読み、小学校で学習した漢字に書き慣れる。(伝国(1)ウ(7)(イ))</p>	1  2-3  4	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」などから本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 本文を通読し、興味をもったことを挙げ、筆者がゴリラの事例を挙げた意図を確かめる。(学習1)</p> <p>2 ゴリラの事例を通して語られる人間一般の性質を捉える。(学習2)</p> <p>→ p165<sup>窓</sup>「論理の展開を捉える」</p> <p>→ p309<sup>資</sup>「説明的な文章を読むために」</p> <p>・論理の展開に注意しながら、筆者の主張を要約する。</p> <p>3 これから出会っていく「新しい世界」について自分の考えをもち、話し合う。(学習3)</p> <p>・「物語」という言葉を新聞や本から探し、筆者の使い方と比べてみる。</p> <p>4 学習を振り返る。</p> <p>・筆者はどのような手順で主張を導き出していたか。</p> <p>・筆者の主張は、文章中のどの部分に表れていたか。</p> <p><sup>漢</sup>p165「漢字を確認しよう」の問題に取り組む。</p>	<p>【関】教材文に興味をもち、自分の考えを広げようとしている。</p> <p>【読】・語句や論理の展開、表現のしかたなどについて自分なりに評価している。</p> <p>・読み取ったことを踏まえ、これからの「新しい世界」について自分の考えをもっている。</p> <p>支 ゴリラの事例から人間一般に論が展開していることや「物語」という言葉の使い方などに着目させ、論読の読み方に気づかせる。</p> <p>【言】比喩的に用いられている言葉の意味に気づいている。</p> <p>【言】問題に取り組む、漢字をおおむね正しく読み書きしている。</p>
11月	<p><b>練習 話し合いを効果的に進める</b></p> <p><b>1時間</b></p> <p>◎話し合いが効果的に展開するように進行のしかたを工夫する。(話聞(1)エ)</p>	1	<p>1 「卒業文集のテーマの設定」の話し合いの例を聞き、参加者として話し合いの進め方について提案する。→<sup>CD</sup></p> <p>・それぞれの意見の共通点と相違点を確認し、論点を整理する。</p> <p>・話し合いの目的や方向性を踏まえて、話し合いの展望をもつ。</p> <p>◇「上達のポイント」を確認させる。</p>	<p>【関】話し合いの進め方などについて考えようとしている。</p> <p>【話聞】話し合いが効果的に展開するように、論点を整理するなどして進行を工夫している。</p> <p>支 「テーマ設定のしかた」「テーマの内容そのもの」「伝える方法」など、それぞれの発言内容を整理させ、制作委員になったつもりで考えさせる。</p> <p>【言】話し合いに適した言葉遣いを意識して発言している。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
11月	<p>話し合って提案をまとめよう 課題解決に向けて会議を開く 4時間</p> <p>◎社会生活の中から課題を見つけ、その解決に向けて説得力のある提案をし、自分のものの見方や考え方を深める。(話聞(1)ア・ウ)</p> <p>◎話し合いが効果的に展開するように進行を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合う。(話聞(1)エ)</p> <p>★社会生活の中の話題について、相手を説得するために意見を述べ合う。(話聞(2)イ)</p>	1  2-4  5	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」などから本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 課題を見つける。 ・住んでいる地域や社会全体などで、話題に上ったり問題となったりしていることから課題を見つける。 → p268[窓]「発想を広げる」</p> <p>2 グループで具体的な提案を考える。 ・グループに分かれ、ブレインストーミングで自由にアイデアを出し合う。 → p270[窓]「話し合いの方法」 ・クラスでの全体会議に向けて、提案の根拠や取り上げる意義を考え、説得力のある内容となるよう提案を絞り込む。</p> <p>3 全体会議を開く。→ [CD] → p170[窓]「話し合って合意を形成するには」 ・類似の提案の有無・目的・実現性を観点として、各グループの案を整理し、よりよい結論にまとめる。 ◇ p170「話し合いで活用したい表現」を参考にさせる。</p> <p>4 話し合いを振り返る。 ・話し合い全体を振り返り、課題解決のために有効だったことや改善すべきことを述べ合う。</p> <p>5 学習を振り返る。 ・どんな点に気をつけて説得力のある提案にしたか。 ・課題を解決するためにどんなことに注意したか。</p>	<p>【関】自分が取り組みたい課題を考えようとしている。</p> <p>【話聞】・社会生活の中から話題を決めて資料などを活用して提案し、話し合いを通して自分のものの見方や考え方を深めている。 ・観点に沿って論点を整理し、長所を生かしてよりよい結論になるように話し合いを進行している。</p> <p>支 取り上げたい課題と、なぜそれを取り上げたいのか根拠を考えさせる。</p> <p>【言】話し合いという場を意識し、適切な言葉遣いをしている。</p>
12月	<p>練習 観点を立てて分析する 1時間</p> <p>◎社会生活の中から課題を決め、観点を立てて分析し考えを深める。(書(1)ア)</p> <p>★関心のある事柄について批評する文章を書く。(書(2)ア)</p>	1	<p>1 広告例を表に沿って分析し、友達と比べる。 ・三つの観点に沿って分析する。</p> <p>2 挙げられている例を評価する場合の観点を考える。 ◇ 「上達のポイント」を確認させる。 ◇ p14「続けてみよう」の『私の評価』メモの観点を参考にさせてもよい。</p>	<p>【関】進んで課題に取り組み、観点を立てて分析しようとしている。</p> <p>【書】挙げられた例を観点を立てて分析することで、課題について論じたり評価したりしている。</p> <p>支 小説やテレビの報道番組を作っている要素を挙げさせる。</p> <p>【言】批評するときの言葉を使っている。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
12月	<p><b>説得力のある文章を書こう</b> <b>批評文を書く</b></p> <p><b>4時間</b></p> <p>◎社会生活の中から関心のある事柄を決め、観点を立てて分析し、考えを深める。(書(1)ア)</p> <p>◎論理の展開や表現のしかたを工夫し、説得力のある文章を書き、書いた文章を読み合っ てももの見方を深める。(書(1)イ・エ)</p> <p>★関心のある事柄について批評する文章を書く。(書(2)ア)</p>	1   2-4   5	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」などから本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 批評文について知る。 ・批評文を書く価値を確認し、例を参考に、批評文に必要な要素や書き方を知る。 ◇p73『批評』の言葉をためる」を再度読ませてもよい。</p> <p>2 関心のある事柄を選ぶ。 ・テーマ例を参考に、社会生活の中から関心のある事柄を選ぶ。 ◇これまで続けてきた『私の評価』メモ(p14「続けてみよう」)があれば、それも振り返らせるとよい。 → p268窓「発想を広げる」</p> <p>3 観点を立てて分析する。 ・選んだ事柄を分析するための観点を挙げ、友達と見せ合い、助言をし合う。 ◇好き嫌いや印象だけの評価にならないよう取材させる。</p> <p>4 論理の展開を考える。 ・文章の構成や資料の引用箇所などを工夫する。</p> <p>5 下書きをして文章にまとめる。 ・p176窓「説得力のある批評文を書くには」やp177「批評するときの言葉」、p273窓「抽象的な言葉」なども参考に書く。</p> <p>6 文章を読み合い、考えを深める。 ・説得力を高める工夫やもの見方で参考になるところはないか話し合う。</p> <p>7 学習を振り返る。 ・どのような点に注意して情報を分析したか。 ・どのような工夫をして文章にまとめたか。</p>	<p>【関】社会生活の中の事柄について、自分の意見を明確にして批評文を書こうとしている。</p> <p>【書】・分析のための観点を示し、判断や批評の根拠を明確にし、資料を適切に引用して、説得力のある構成で批評文を書いている。 ・友達の書いた批評文から参考になる部分や表現を指摘し、自分の表現に役立てている。</p> <p>支 「分析の観点」「表現のしかた」など、文章を読み合うときの観点をあらかじめ提示しておく。</p> <p>【言】自分の意見を効果的に表現するために、批評するときの言葉を適切に使っている。</p>
12月	<p><b>初恋</b></p> <p><b>1時間</b></p> <p>◎詩における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して読み、人間・社会・自然などについて考え、自分の意見をもつ。(読(1)ア・エ)</p>	1	<p>1 言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。 ・七五調の文語定型詩という詩の形式を踏まえる。</p> <p>2 語句や表現に込められた意味を読み取る。 ・「恋」をキーワードに各連を読み取る。</p> <p>3 自分の意見をもち、発表し合う。 ・今の自分の状況と照らし合わせたり、想像を広げたりしながら作品を読み深める。</p>	<p>【関】進んで朗読し、詩の世界を味わおうとしている。</p> <p>【読】表現や語句の効果に着目し、作者の思いについて、自分の状況と照らし合わせながら説明している。</p> <p>支 現代語訳を示し、各連の大意を読み取らせる。</p> <p>【言】文語特有の表現を味わい、語感を磨いている。</p>
12月	<p><b>文法への扉2</b> <b>「ない」の違いがわからない?</b></p> <p><b>1時間</b></p> <p>◎2年までに学習した文法の知識を確かめ、理解を深める。 (1年伝国(1)イ(エ))(2年伝国(1)イ(ウ)(エ))</p>	1	<p>1 教材文を読み、文法的な観点から言葉について考察することの意義を確認する。 ・導入の課題に取り組み、3つの「ない」の違いについて考える。</p> <p>2 p221文法2「文法のまとめ」の問題に取り組み。</p>	<p>【関】三年間の文法学習を振り返り、苦手な箇所を克服しようとしている。</p> <p>【言】文節の区切りや品詞の違いについて理解している。</p> <p>支 1・2年次の教材を振り返らせる。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	<b>読書に親しむ</b>			
12月	エルサルバドルの少女 ヘースス 読書コラム 読書記録をつける 読書案内 1時間 ◎目的をもって本を読み、人間・社会・自然などについての知識を広げ、自分の考えを深める。(読(1)エ・オ)  ★自分の読書生活を振り返り、本の選び方や読み方について考える。(読(2)ウ)	1	1 読書教材「エルサルバドルの少女 ヘースス」を読み、ヘーススの生き方や考え、筆者の写真や取材のしかたについて、心引かれる部分と話し合う。 2 読書コラム「読書記録をつける」を読み、読書を記録することについて考える。 3 教科書の読書案内を参考にしながら、これから読んでみたい分野や作家を挙げさせる。	【関】自分の読書生活に関心を持ち、読書について話し合ったり本の幅を広げたりしようとしている。 【読】ヘーススの生き方などに着目して読み、人間の生き方や社会の在り方について考えている。 支 写真や注などを示しながら、内戦の中でたくましく生きるヘーススの姿を捉えさせる。 【言】比喩など、特徴的な表現に着目し、語感を磨いている。
12月	季節のしおり 冬		・冬の季語や、冬の情景を詠んだ和歌や俳句などを味わい、伝統的な言語文化に親しむ。 ◇授業の導入や、p139「君待つと」、p146「夏草」などの資料として用いてもよい。	
	<b>7 未来に向かって</b>			
1月	誰かの代わりに 6時間 ◎現代社会の可能性や困難、自分の生き方について考え、意見をもつ。(読(1)エ) ◎文脈における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して論理の展開のしかたを捉え、内容の理解に役立てる。(読(1)ア・イ)	1  2-3  4-5	「目標」や「学習の見通しをもとう」などから本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 全文を通読する。 ・本文を読んで気になったところや共感したところを話し合う。 2 抽象的な語句に着目して読みを深める。 ・本文に使われている抽象的な語句や引用の言葉を挙げ、筆者がどういう意味で用いているかを確かめる。 3 論理の展開を押さえる。 ・言葉の言い換えや具体例を用いて説明している内容を整理しながら、筆者の主張をたどる。 4 現代社会や生き方に対する自分の考えをもち、話し合う。 ・筆者の主張に対して、共感や納得ができるか、疑問があるかなどを考える。 ・筆者の論を参考に、自分のこれからの生き方や社会のあり方について話し合う。 5 学習を振り返る。 ・現代社会の可能性や困難、生き方について、どのような考えをもったか。	【関】現代社会の特徴を知り、可能性や困難、自分の生き方について考えようとしている。 【読】・筆者の主張を捉え、現代社会や生き方に対する自分の意見をもっている。 ・抽象的な語句や論理の展開のしかたを捉え、内容を理解している。 支 どの言葉がどう言い換えられているかキーワードを一つ一つ説明したり、英単語との比較に着目させたりする。 【言】文章中の抽象的な語句に興味をもち、意味や類義語などを調べている。
2月	わたしを束ねないで 5時間 ◎詩における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して読み、自分の可能性や生き方などについて考え、自分の意見をもつ。(読(1)ア・エ)	1-2  3	「目標」や「学習の見通しをもとう」などから本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 詩を通読し、特徴的な言葉や表現の工夫などについて気づいたことを話し合う。 ・繰り返し使われる言葉や比喩表現などを抜き出し、気づいたことを述べ合う。 2 詩に込められた作者の思いを読み取り、その思いを自分と照らし合わせて考え、自分の意見をもつ。 3 これからの自分の可能性について考えをまとめ、グループで交流する。 4 学習を振り返る。 ・語句の効果的な使い方や表現の工夫にはどのようなものがあったか。 ・自分の可能性や生き方などについてどのように考えたか。	【関】表現の特徴や作者の思いを捉え、自分の考えをもとうとしている。 【読】詩における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して読み、自分の可能性や生き方などについて考え、自分の意見をもっている。 支 自分だったらどんな比喩にするかを述べさせることで、自分の可能性について考えさせる。 【言】語感を磨き語彙を豊かにしている。

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
2月	漢字3 漢字のまとめ 2時間 ◎2年生までに学習した漢字に加え、その他の常用漢字のたいたいを読み、適切に使い慣れる。(伝国(1)ウ(7)(イ))	1-2	1 練習問題に取り組む。 ・三年間の漢字の総まとめとして、漢字の意味や読み方などについて調べ、適切に使い慣れる。	【関】問題に取り組む、漢字への理解を深めようとしている。 【言】漢字の読み方や意味を確かめながら問題に取り組む、おおむね理解している。
3月	三年間の歩みを振り返ろう 学びについて語り合う 5時間(話聞②書④) ◎三年間の学びを振り返りながら自分の考えを深め、構成を工夫してまとめる。(書(1)ア・イ・エ) ◎自分の経験や知識を整理して話し、発表内容や書いた作品を評価し合っもの見方や考え方を深める。(話聞(1)ア・ウ)	1 2-4 5-6	「目標」や「学習の見通しをもとう」などから本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 三年間の学習を振り返る。 ・印象に残っている学習をいくつか選び出し、これまでの学習を振り返る。 2 学習を整理し、冊子にまとめる。 ・整理する観点を決め、コメントを付ける。 ◇ p211「学びを整理する観定の例」を確認させる。 ◇ p14「続けてみよう」の「アンソロジー」を振り返らせてもよい。 3 編集後記を書く。 ・学習を整理して考えたことや、整理した中で最も印象に残っていることを一つ選び、まとめる。 4 発表会をする。→ <b>CD</b> ・質疑応答も含めて一人三分程度で簡潔に行う。 ◇「発表会の例」を参考にさせるとよい。 5 学習を振り返る。 → p214 <b>窓</b> 「もの見方や考え方を深めるには」 ・三年間の学習をどのように振り返り、まとめたか。 ・書いた作品や発表内容をどのように評価し合ったか。	【関】中学校三年間の学習を振り返り、自分の学びを冊子にまとめようとしている。 【書】三年間の国語の学習から取材して伝えたいことを決め、冊子の構成を工夫している。 支 伝えたいことを決めさせ、時系列で素材を並べさせ、一つ一つにコメントを書かせる。 【話聞】冊子の内容を生かして発表し、評価し合っ自分の表現に役立てたり、もの見方や考え方を深めたりしている。 支 友達の発表を聞く際には、自分の発表との違いをメモさせ、今後の自分の学習について考えさせる。 【言】適切な言葉を選び、友達の作品を評価している。
		90		